

平等推進は平和の原動力



3.8 国際女性デー

これまで10年近く国連を率いる中で、私は気候変動の衝撃や深刻化する貧困、武力紛争、市民社会の縮小といった試練に世界が繰り返し直面するのを目の当たりにしてきた。しかし同時に、多くの解決策が根付く様子も見てきた。それらには共通点があった。女性だ。国際女性デーを機に、ジェンダー不平等が現代における最大の人權課題であり、平等を推進することが持続可能な開発と平和の最も強力な原動力の一つであることを認識すべきだ。



2025年8月、インタビューに答える国連のグテレス事務総長

ANTONIO GUTERRES

1949年、ポルトガル首都リスボン生まれ。リスボン工科大卒。95～2002年首相。05～15年、国連難民高等弁務官。17年1月、第9代国連事務総長。22年1月から2期目。

国連事務総長 アントニオ・グテレス

以下に女性の権利を推進し、成果を上げるための八つの行動を示す。私自身の経験と、国連や世界の市民運動の取り組みに着想を得たものだ。

① 権力格差の是正

男性優位の制度が今なお世界を形づくっている。権威主義の台頭は不平等を深め、公平な労働賃金から生殖に関する権利に至るまで、苦勞して勝ち取った権利の保護を後退させている。ジェンダー平等は社会を向上させる。権力が共有されれば、自由は拡大する。

② 男女平等を最優先に

各国政府や企業役員における女性の比率は著しく低い。国連は上級管理職から男女平等を優先課題とした。採用基準を下げるのではなく、適格性を持つ候補者を広く募ることで実現した。その結果、職場文化が向上し、意思決定は包摂

女性の権利 成果上げるための八つの行動

的になり、国連はより強固になった。

③ 最高のリターンを生む投資

女性への投資は桁外れのリターンを生み出す。女子教育への投資は約3倍の利益を、妊産婦の健康管理や家族計画は8倍以上の恩恵をもたらす。育児や介護など家族を支える政策はコミュニケーションを強め、成長を実現する。これらを併せることで男女格差解消の基盤が築かれ、国民所得を最大20%押し上げられる。

④ 和平交渉に女性を

女性が交渉や履行に参加すると、和平合意はより持続的になる。しかし戦争の負担を最も重く受けるのが女性でありながら、多くの紛争の交渉から女性は除外されている。不安定さが増す今、女性の参加は分断された世界を安定させる近道だ。

⑤ 法的差別の撤廃

世界中で女性が享受する法的権利は男性の64%に過ぎない。多くの地域で女性は財産所有も自由な労働も離婚もできない。全ての国が差別的法律を撤廃すべきだ。

⑥ ジェンダーに基づく暴力の根絶

不平等に根ざし沈黙に支えられた女性への暴力は、世界が取り組

むべき緊急事態だ。性的搾取や虐待を含む暴力は信頼と人間性に対する恐るべき裏切りとしていまだに続いている。こうした暴力を一途容認せず、徹底的に責任追及し、被害者を断固支援すべきだ。

⑦ 偏見の排除

IT労働者のうち女性が4人に1人しかない現状では、日常生活のシステムの中に偏見が組み込まれている。オンライン上では女性嫌悪が急増している。テック企業と各国政府は協力し、安全で包摂的なデジタル空間を構築すべきだ。

⑧ 気候対策にジェンダーを

女性は気候変動の影響をより受けやすい。食料危機の際は最後に食べ、緊急時はより大きな危険にさらされる。同時に女性は気候問題解決の先頭にも立っている。環境保護法を推進し、現場で変革を進めている。持続可能な地球のためには、ジェンダーに配慮した気候政策が不可欠だ。私は世界中の戦場や議会、教室や地域社会で、これら八つの解決策が実践されるのを見てきた。指導者がジェンダー平等を真剣に捉えて取り組めば世界は変えられる。女性と少女のため、私たちが皆のために。(特別寄稿)